事務事業調書	No	600	課 名	下水道管理課	起 案 者	荒木一輝
平成23年度			係 名	庶務係	決 裁 者	神谷敬信
事 業 種 別	施設整備		区 分	継続	業務一覧No	
事務事業名	受益者負担金賦課徴収事業（公共・特環）				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 2 接続促進	予算科目(会計)		下水道事業特別会計
		予算科目(款・項・目)		5-5-5
		総合計画以外の計画		
		関連する総合計画の施策		
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの（選択的事業）	法定受託事務	無	
根拠法令	有	下水道法第２０条・安城市農業集落排水条例		
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開 始		経 過	終 了	期 間
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	整備区域の受益者が	～になる	下水道工事費の一部を負担することで整備地区外との均衡を図る
事務事業の内容	下水道を利用できる人とそうでない人の不公平を解消するために設けられた、建設費の一部を負担する受益者負担金を賦課・徴収する事務。			
事務事業進捗状況	受益者負担金 ２０年度調定額 183,869,620円　収納額 177,927,900円　収納率 ９６．７％ ２１年度調定額 221,221,080円　収納額 216,755,540円　収納率 ９８．０％ ２２年度調定額 148,564,860円　収納額 144,629,650円　収納率 ９７．４％			
改善・対策の履歴	受益者が各年度の第１期の納期に当該納期以後の納期に係る負担金の全額を一括して納付した場合においては、一括納付報奨金を交付する取扱いについて第２期以降も準ずるように検討する。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		16,270	16,156	15,882	15,124	15,424	14,546	16,931
	財 源 計 a		2,942	2,828	2,554	1,796	2,096	1,218	3,678
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	2,942	2,828	2,554	1,796	2,096	1,218	3,678
		一 般 財 源	0	0	0	0	0	0	0
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		13,328	13,328	13,328	13,328	13,328	13,328	13,253
	内 訳	従 事 職 員 数	1.77	1.77	1.77	1.77	1.77	1.77	1.76
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	説明会開催	見込(単位)	10.00	16.00	14.00	11.00
				実績b(単位)	11.00	16.00	11.00	
		指標名(単位)	説明会(回)	活動の総事業費f 実績	16,156	15,124	14,546	
				単位コストg=f÷b 実績	1,468.74	945.26	1,322.37	
	活動②	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	受益者負担金収納率(%)	見込(単位)	95.00	95.00	95.00	95.00
			実績(単位)	96.70	96.50	97.40	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)				
			実績(単位)				
			達成状況				
		目標成果指標値		目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	なし。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	年度ごとの整備計画区域の範囲によって説明日の回数が増減する状況がある。
	成果1，2	・昨年度初めて送付した催告書の効果により、滞納者からの問い合わせが増え、これを機に納付依頼、指導ができたため、納付額が増加したと考えられる。 ・下水道の利便性、経済性、環境貢献等が浸透したきた効果も大きいと考えられる。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	地元説明会における説明内容を充実し、理解し易いものにすること。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	下水道利用者とそうでない人の不公平を解消するために継続が不可欠です。受益者負担金制度への理解を深められるよう、下水道事業説明会等を有効に活用していきます。